えべつの未来づくりミーティング
～ 江別市自立支援協議会編 ～

令和４年３月２２日（火）オンライン開催
午後３時～午後４時３０分

１ 江別市の「強み・弱み」は

・強みは、コンパクトなところ。障がい福祉の事業者は、お互いの顔も見えやすく、ネットワークをつくりやすいと感じている。一方、隣に札幌という、いろいろな資源が揃ったまちがあるので、困った時に札幌に行けば事足りることも多いため、江別で独自のものが育ちにくく、江別になくてもいいという感じになってしまう。

・札幌から就職で江別に来た時、調べると、江別は「レンガ」「風」「小麦」のまちだと学んだ。小麦はパン屋さんが多いので、レンガや小麦をもっとアピールしたら良いと思う。風の強さは、引っ越してきて実感している。風力発電で利用できないかなと思ったりしている。

・いろいろな産業があると、仕事の選択肢が増えて、障がいのある方の働く先の選択肢の広さにもつながると思う。ただ、札幌が近いことはメリット・デメリットがあって、江別で働いてほしいと思っても、札幌で就職するという選択をする人も多いので、難しいところだと思う。

・江別の強みは、コンパクトでシンプルなまちであることだと思う。街並みが一定なので、住んでいると落ち着く。その一方で特色が薄いとも思う。特色って何だろう？と考えないと出てこない。住民がそう思うということは市外の人はなおさらだと思う。北海道内の人口が同規模の小樽市や北見市であれば、小樽は歴史のまち、北見は焼肉のまち、と印象がはっきりしている。そういうものが江別市にないと思う。

・強みと感じるのは、自立支援協議会で携わっていると、住んでいる方々は、明るくて意見が活発に出て、課題の抽出がうまいと感じる。

・江別市には、大きな公園が多いことが強み。札幌にもあるが、札幌はとても混んでいる。江別市は適度に空いているので、順番待ちをしなくても子どもを遊ばせることができる。弱みは、４つの大学があるが、卒業すると市外に転出してしまうこと。

・大学の先生との話の中で、自宅から通っている学生が多く、就職は自宅から通勤しないと収入の中でやりくりできないので、実家に戻って就職するのが当然のものとして就活していると聞いた。福祉施設などは寮を整備したり家賃補助をしないと人材が集まらないとも聞く。江別市に人を留めるには、いろいろな策を講じることが必要なのではないかと思った。

２ 江別市の障がい福祉の現状について

・先ほど、江別市の強みで「顔が見えやすい」という話があったが、自分が仕事をし始めた十数年前は、とても顔が見える関係だったと思う。最近は事業所が増えてきて、障がいをお持ちの方にとっては選択肢が増えて良いことだと思うが、それと同時に、少しずつ、分からない、気付けない部分が増えている。

・グループホームの新棟を建てる際、その地域の自治会の総会にお邪魔して、増設の説明をしたが、快く歓迎してくれた。グループホーム完成後は、地域の方を招いて、グループホーム内で焼肉パーティーをしたり、地域合同で避難訓練をしたりしている。地域のみなさんには、日頃、利用者の生活面も細かくサポートしていただいている。障がい者や高齢者への理解が深いまちだと感じる。

・精神障がい、発達障がいの方が増えてきていると感じる。相談支援業務で市役所の障がい福祉課に行くが、一人ひとりのケースについて相談すると、親身になって聞いてくれるので心強く思っている。一方、江別市内は、バリアフリー化が進んでいないと感じる。歩道が微妙に斜めになっていて、車いすや歩行器では車道のほうに寄ってしまうなど。また、仕事の受入れ先がなかったり、送迎がなく、札幌の通所に行かなければならないこともある。

・市の障がい福祉課から各事業者に聞くことも多い。そのようなつながりが市としても非常に助かっている。事業者間の横のつながりも強いと思う。

・自立支援協議会で出ている話題を聞いていると、他の自治体と同様の課題を抱えていると感じる。医療的ケアや相談支援事業者の業務のひっ迫具合など。

３　将来に向けて、江別市が重視すべき考え方や視点、力を入れるべき分野について

・江別市の特徴は、大きな川や広い土地があること。一次産業に向いている。酪農学園大学もあるので、酪農と畜産を盛り上げて、焼肉のまちにならないか。牛の皮はグローブに使えばＳＤＧｓにつながらないか。

・障がい福祉事業所が増えると、障がいのある人は障がい福祉事業所に通所するのが当然というような流れになるのが少し心配。私たち事業者が押し出すのも当然だが、地域が引っ張ってくれるような空気になっていくといいなと思っている。最近は高学歴の発達障がい者も増えており、障がい者の受入れ枠にあてはまらず、行き場がないことが気になっている。健常者の中に障がい者が入り込んでいけるような場所や環境が増えていくと、みなさんの選択肢がもっと増えていいと思う。

・学生のうちに起業する人が増えていると聞いた。起業支援などできないか。企業の方から聞いたが、起業する際に、札幌市で起業するより江別市で起業するほうが初期投資が安く済むとのことだった。

・自立支援協議会での課題から、権利擁護や、「親亡き後」を見据えた地域生活支援拠点の整備などに取り組んでいただけたらと思う。

・もう少し学生に市内に残って活躍してもらう魅力を江別市が持つことが大事ではないか。子ども食堂では、北翔大学の学生も毎年入れ替わりで来てくれている。子どもだけでなく、家で一人で食事をされている障がいのある方も利用しているが、大学生は４年生になると卒業して来なくなるので、「仲良くなったけど卒業でいなくなるんだよね」と寂しそうに言っているのを見ると、卒業しても学生を江別に引き留められないだろうかと考えてしまう。

・他の自治体の事例で見たことがあるが、「ドラマのロケ地として使ってください」と、まちをＰＲして、ロケを誘致しているところがあった。

・スポーツ合宿の誘致ができないか。ラグビーワールドカップの時にも、学校訪問などで盛り上がっていた。留萌市は合宿に助成をして誘致していたと思う。